

ウッドデッキ比較表

樹種名	原産国	科目	耐久年数	m単価	特徴（メリット・デメリット）
天然木					
イペ （パオロペ）	ブラジル	マメ	30年～	1233円	ウリンと並び抜群の耐久性・強度を誇る。公共事業にも多く使用されており施工実績もかなり多く安心感あり。しかし近年の値上がり率が大きくコストパフォーマンスは低い
ウリン （ピリアン）	マレーシア	クスノキ	30年～	1033円	耐久性・知名度No.1デッキ。横浜ベイサイドマリーナやディズニーシーなどにも使用されている赤褐色の樹液が流れ出すことがあるが家庭用ハイターなどで簡単に落とせる
マニルカラ （アマゾンジャラ）	ブラジル	アカテツ	25年～	933円	少しマニルカラの方が赤っぽい美観的にはウリンと見分けがつかないデッキ ウリンの代替えとして近年多く使用されている。硬くて施工は難
イタウバ	ブラジル	クスノキ	20年～	916円	割れが少なく木肌が滑らかで加工も比較的容易なため多少の曲がりも補修可能 特徴として黒い斑点が多くみられることがあるが強度などには影響なし
セランガンバツ	インドネシア	フタバガキ	20年～	793円	現在国内にあるハードウッドの中ではコスト的には低く・耐久性もあり ピンホールとよばれる黒い小さな穴がある材もあり。耐久・強度には問題なし
クマル （イペグランデ）	ブラジル	マメ	25年～	850円	イペの価格高騰を受けポストイペと言われていたが入荷が安定しない デッキ施工の価格が合わない場合などに下地をクマルで施工することが多い
レッドシダー	カナダ	ヒノキ	10年～	730円	ソフトウッドと呼ばれる材料だがソフトウッドの中では耐久性あり 色のばらつきは多いが施工性はかなりよい
人工木					
ルチアウッド			半永久	522円	品質の厳しいヨーロッパなどでも使用されており世界で年間100万/m ² 使用 日本でも大学・保育園・福祉施設・個人邸と様々な場所で使用されている
ハンディウッド			半永久	938円	部材が多くフェンスやルーバー・パーゴラなど様々な用途に対応できる

※m単価は20×105を基本としております。人工木は25×145が基本となっているため20×105と仮定しm単価算出してしております。
m単価は比較しやすい様に目安として出しております。（すべて税込み）